

平成31年度（2019年度）第1回公立大学法人熊本県立大学経営会議  
議 事 録

- 1 日 時：令和元年（2019年）6月26日（水）午後1時30分～  
午後2時20分  
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室  
出 席：理事長 白石 隆  
副理事長（学長）半藤 英明  
理事（副学長）堤 裕昭  
理事（事務局長）齊藤 浩幸  
理事 本松 賢  
委員 横田 桂子※  
委員 江頭 実 ※  
監事 河喜多 保典  
監事 本田 悟士

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

- 欠 席：委員 櫻井 一郎  
委員 古莊 文子

事務局：手島次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、脇上企画調整室長、丸山総務課長、脇地域連携政策センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、八十川総務課総務班長、矢津田総務課財務班長、平井総務課財務班参事、松本企画調整室参事

2 開会（進行：手島次長）

3 理事長あいさつ

4 議題（議長：白石理事長）

（1）審議事項

① 平成30年度業務実績の自己点検・評価等について

事務局から、資料1に基づき、平成30年度業務実績に係る自己点検・評価について、全50項目中、S～Cの4段階評価で、S評価が1項目、A評価が46項目、B評価が3項目であり、ほぼ順調に実施できたと総括する旨の説明がなされた。

また、6月末までに県の法人評価委員会に提出する業務実績報告書は、この自己点検・評価結果を基に作成するとの説明もあった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成30年度決算について

事務局から、資料2に基づき、平成30年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、損益の処分に関する書類（案）、決算報告書により説明があった。

当期総利益は約2億1百万円で、これは震災に伴う就学支援について県

の交付金を相当程度確保できたこと、支出の減として、経費節減に取り組んだこと、時間外勤務の減少や育児休業などにより人件費が当初見込みより減少したことなどが要因であること、この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金への積み増しの承認を県に求めるとの説明がなされた。

事務局からの説明後、河喜多監事から監査報告の説明があった。  
審議の結果、案のとおり承認された。

③ 学長選考会議委員の補充選出について

事務局から、資料3に基づき、経営会議から選出された委員のうち、平成31年3月に退任した田中理事の後任を選出する必要がある旨の説明があった。

審議の結果、斉藤理事を補充選出することとなった。

(2) 報告事項

① 令和2年度(2020年度)入学者選抜の実施方針について

事務局から、資料4により、学部入試、大学院入試の方法、募集人員、入試広報の内容、年間スケジュール等について報告がなされた。

② 平成31年度(2019年度)入学者の状況について

事務局から、資料5により、学部入学者の内訳、大学院入学者の内訳について報告があった。

③ 平成30年度(平成31年(2019年)3月)卒業者の就職等決定状況について

事務局から、資料6により、就職決定状況や就職率について報告があった。

④ 熊本県立大学未来基金の平成30年度収支状況について

事務局から、資料7に基づき、熊本県立大学未来基金の平成30年度収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

5 その他

- 次回経営会議は、令和元年(2019年)10月23日(水)14:00開始予定であることを確認した。

6 閉会

以上